

台湾でアフリカ豚熱 が発生！

アフリカ豚熱（ASF）は、ASFウイルスが豚、いのししに感染することにより、発熱や全身の出血性病変を引き起こす致死率ほぼ100%の伝染病です。ウイルスに汚染された豚肉、豚肉加工品を豚に給餌することや、豚同士が直接的または間接的に接触することにより感染が拡大します。

有効なワクチンや治療法はなく、感染が確認されると農場内の豚は全頭殺処分となり、経営に多大なる影響を及ぼす疾病です。

I 発生状況

ASFは、アフリカ地域のほか、欧州、ロシア、アジアが流行地域となっています。東アジアにおいては、これまで日本と台湾のみ発生がありませんでしたが、2025年10月21日に台湾の養豚場において、初めて発生が確認されました。

II 日本への侵入防止対策

日本はASFの清浄国ですが、2018年8月以降アジア各国で発生、2019年9月からは韓国で発生が認められており、韓国釜山市では野生いのししでの感染が拡大するなど、侵入リスクが高い

状況が続いています。

こうした現状を踏まえ、ASF発生源からの動物及びそれに由来する肉の輸入を原則として禁止したり、帰国後1週間は観光牧場等の家畜がいる施設に近づかないよう呼びかけるなど、ウイルスの国内への持込み、農場への侵入について厳重な警戒をしています。

III 農場における発生予防対策

- ・農場に出入りする際には人、物、車の洗浄・消毒を徹底しましょう。
- ・豚舎ごとに専用の衣服と長靴を着用しましょう。
- ・野生動物の侵入防護柵、防鳥ネットが破損していないか確認・修繕をおきましょう。
- ・ねずみ等の小動物を駆除しましょう。
- ・農場、畜舎周縁に消石灰を散布しましょう。
- ・飼料に肉と接触した可能性がある食品残さを使用している場合は、加熱処理を行うか、加熱処理がしてあるものを使用しましょう。

IV 健康観察と異状の早期発見

毎日、豚の健康状態をよく観察し、異状があった場合には、直ちに熊谷家畜保健衛生所（電話番号 048・521・1274）まで連絡してください。